

## レポートの作成について

### 1. はじめに

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず読み手がいます。レポートの評価を行うのは、読み手です。書き手が評価を行うものではありません。まず、第一に、読んでもらう人が理解できるように、わかるように、書くことを心がけてください。

講義や実験のレポートでは、提出先の教員がある程度事情を把握しているので、問題とはなりません。説明不足のレポートになりがちです。例えば、実験などの「方法」は、それを読んで、他の人が同じように測定を行うことができますか？必要以上に細かく書く必要はありません。実験のレポートは、基本的には、他人がそのレポートのみを読んで、同じような実験を行うことができるように書いてください。自分だけがわかっているのでは、いけません。

### 2. 体裁について

今回のような実験系のレポートでは、例えば、

1. はじめに
2. 実験の方法
3. 実験の結果
4. 考察
- (5. 感想)

のように、章立てをしたり、小見出しをつけたり、階層構造になるように項目を立てると読みやすくなります。

なお、一般的な研究論文では感想は書きませんが、この実験のレポートの場合は、感想も書いてください。

ただし、考察と感想は、分けて書いてください。考察は、結果を受けて、どのように合理的に判断できるか？筋道を立ててどのように考えられるか？ということを書くものです。一方、感想は、自分が感じたことを書くものですから、結果とは必ずしも関係なくともいいわけです。

- ・レポートのどこかに、ページ番号を記入してください。もしも、レポートがバラバラになっても、順番がわかるようにして下さい。
- ・「 $\mu$  (ミュー)」などのギリシア文字は読みも難しくやっかいです。多くの場合、日本語入力の「文字パレット」などの「ギリシア文字」から入力できますので、きちんと入力してください。

い。

- ・フォントを上手に使いわけてください。例えば、「ゴシック体」と「明朝体」を使い分けるだけでも、かなり見やすくなります。
- ・ワープロを使う場合は、変換ミスがよく見られます。例えば、「以外に面白かった」などのように（正しくは、「意外に面白かった」です。）。できるだけ、レポートを作成した後に読み返しを行ってください。

### 3. 内容について

- ・レポートを作成した際に使った計算式や語句の説明なども入れてください。必要以上に細かく書く必要はありませんが。
- ・数字で出てくるデータでは、「54」と「54.0」は、意味が違います。「54」は一の位まで読みとった結果であるのに対し、「54.0」は小数点一桁まで読みとった結果です。機器の精度の問題でもありますので、注意しましょう。また単位は、きちんと書き込んでください。
- ・判断の基準となった図表などの出典（どの本の何ページに載っている図表か？どのホームページのどの欄に載っている図表か？など）を明記してください。どこの何をみて、そのように判断したのか？を、明示して下さい。同様に、結果の評価に用いた基準値についてもレポートの中に、書き込んでください。今回のような実験の場合は、採点する教員がわかっている場合が多いですが、普通はわかりません。
- ・基準に照らし合わせて、基準値よりも「小さい」と「良い」のでしょうか？それとも「悪い」のでしょうか？例えば、25℃の環境は、冬季では「暖かい」環境ですが、夏季では「涼しい」環境になります。
- ・「別紙を参照」、「下記に示す」など書いてあるのに、それらが見あたらないレポートも見られます。きちんと入れておきましょう。また、「別紙」や「下記」がどれを指すのか、わかりにくい場合もあります。わかりやすいように心がけてください。
- ・一文が長く、また句読点の位置がおかしいために、非常に読みにくいレポートが見られます。レポートが完成したら、もう一度、自分で読んでみて、すんなりと読めるかどうか確認してください。自分でもわからない場合は、他人にはわかるはずはありません。
- ・ワープロで書く場合に、ほとんど同じような考察を書くと、人のものを写した（更にいえば、コピーした）とも取られかねません。十分注意しましょう。

### 4. グラフや図表について

- ・図表にはきちんとタイトル、単位、凡例を入れてください。普通は、図の場合は図の下側に「図

1 ～」などのようなタイトルを入れ、表の場合は表の上側に「表1 ～」などのようなタイトルを入れます。

- ・グラフや表を作成する際には、できるだけ、見やすいように工夫してください。グラフや表の作り方がわからない場合は、Excelのヘルプで調べるなり、自分で本を買ってくる（4年生になって研究室に配属されれば、どうせ使うのですから）なりしてください。
- ・図表の見かたについても、最低限で良いですから、説明を加えてください。
- ・レポートに平面図などを載せる場合は、縮尺もしくは寸法、方位などを入れてください。

## 5. 参考となる文献

熊本県立大学附属図書館 (<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~tosho/index-j.html>) の『図書館資料検索』で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

熊本県立大学附属図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

### 【入門編-学生生活の基本と共に】

- 1) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』（学習技術研究会編著，くろしお出版，2002年4月，1,900円＋税，ISBN：4-87424-247-2）〔開架2，377.15||G16，0000261688〕  
→改訂版あり（2006年10月，1,800円＋税，ISBN：4-87424-355-X）。〔開架2，377.15||G16，0000311457〕
- 2) 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）〔開架2，377.15||Ki71，0000293704〕
- 3) 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（松本茂・河野哲也，玉川大学出版部，2007年3月，1,400円＋税，ISBN：978-4-472-40343-9）〔開架2，002.7||Ma81，0000309779〕
- 4) 『情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター』（中澤務・森貴史・本村康哲編，くろしお出版，2007年4月，1,800円＋税，ISBN：4-87424-372-5）〔開架2，377.15||N46，0000309780〕

### 【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 5) 『講談社現代新書1603 大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2002年4月，680円＋税，ISBN：4-06-149603-4）〔文庫本，080||49||1603，0000259322〕

- 6) 『講談社現代新書 1677 インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』  
（小笠原喜康，講談社，2003年8月，720円＋税，ISBN：4-06-149677-8）〔文庫本，  
080||49||1677，0000273985〕
- 7) 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテー  
ション』（石坂春秋，くろしお出版，2003年3月，1,400円＋税，ISBN：4-87424-273-1）〔3  
F和，816.5，9000006625〕
- 8) 『Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』  
（佐良木昌，明石書店，2004年10月，1,600円＋税，ISBN:4-7503-1983-X）〔3F和，816.5||Sa  
69，0000290926〕
- 9) 『レポート・論文の書き方入門 [第3版]』（河野哲也，慶應義塾大学出版会，2002年12  
月，1,000円＋税，ISBN：4-7664-0969-8）〔3F和，816.5||Ko 76，0000285910〕  
→初版（1997年発行）は〔書庫，816.5，9000002010〕  
改訂版（1998年発行）は〔3F和，816.5||Ko 76，0000222982〕，〔書庫，816.5||Ko 76，  
0000252694〕

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

- 10) 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』（山内志朗，平凡社，2001年9月，  
700円＋税，ISBN：4-582-85103-7）〔文庫本，080||H 51||103，0000275301〕，〔書庫，080||H  
51||103，0000270456〕
- 11) 『NHK ブックス 954 論文の教室 レポートから卒論まで』（戸田山和久，日本放送出版  
協会，2002年11月，1,120円＋税，ISBN:4-14-001954-9）〔文庫本，080||Nh 2||954，0000276644〕
- 12) 『これで安心「卒論」ラクラク基本マニュアル 卒論応援団 2』（澁谷恵宜，クラブハウ  
ス，2000年7月，¥1,980円＋税，ISBN:4-906496-24-5）〔3F和，816.5||Sh 23，0000275899〕，  
〔書庫，816.5||Sh 23，0000241701〕，〔書庫，816.5||Sh 23，0000270566〕
- 13) 『大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方』（吉田健正，ナカニシヤ出版，  
1997年5月，1,500円＋税，ISBN：4-88848-378-7）〔3F和，816.5||Y 86，0000263004〕
- 14) 『これからレポート・卒論を書く若者のために』（酒井聡樹，共立出版，2007年5月，1,800  
円＋税，ISBN：978-4-320-00574-7）〔3F和，816.5||Sa 29，0000309758〕
- 15) 『学生・院生のための研究ハンドブック』（田代菊雄，大学教育出版，2001年5月，1,500  
円＋税，ISBN：4-88730-437-4）〔開架2，002.7||Ta 93，0000271825〕
- 16) 『サイエンス・ライティング入門』（落合洋文，ナカニシヤ出版，2007年3月，1,500円＋  
税，ISBN：978-4-7795-0139-5）〔開架2，407||0 15，0000309920〕
- 17) 『建築系学生のための卒業論文の書き方』（山口廣・笠井芳夫・浅野平八，井上書院，2008  
年4月，1,800円＋税，ISBN：978-4-7530-1056-1）〔開架2，520.7||Y 24，0000317372〕

- 18) 『論文はデザインだ!』（渡邊研司，彰国社，2008年5月，1,95円＋税，ISBN：978-4-395-24107-1）〔開架2，520.7||W 46，0000317373〕

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが，今後，4年生になって研究室に配属された際にも必要になるでしょうから，気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。

その他にも，いろいろな本がありますので，大学の売店（丸善）や下記の本屋などで探してみてください。

1) 紀伊國屋書店熊本光の森店

〒869-1101 菊陽町津久礼 3310(51 街区) ゆめタウン光の森内 2 F

電話：096-233-1700 FAX：096-233-1701

営業時間：10:00～22:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/02.htm>

2) リブロ熊本店

〒860-0805 熊本市桜町 3-22 くまもと阪神 6 F

電話：096-211-9033 FAX：不明

営業時間：10:00～19:30

<http://www.libro.jp/web/shoplist/kumamoto.html>

3) 喜久屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通 1- 3- 10 ダイエー熊本下通店 6 F

電話：096-319-8581 FAX：096-319-8583

営業時間：10:00～21:00

<http://www.blg.co.jp/kikuya/zip.htm#kumamoto>

4) 蔦屋書店熊本三年坂

〒860-0801 熊本市安政町 1- 2 カリーノ下通 1F- 2F

電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890

営業時間：10:00～深夜 1:00（金・土のみ～深夜 4:00）

<http://www.tsutaya.co.jp/shop/tenpo.zhtml?FCID=8000>

5) 熊本大学生協の学生会館ショップ書籍コーナー

〒860-8555 熊本市黒髪 2- 40- 1

電話：096-345-9451 FAX：不明

営業時間：8:10～19:00（土日祝休み）

<http://ha9.seikyoku.ne.jp/home/kumamoto-u/index.html>

また、下記のホームページなどが参考になるかもしれません。その他に、自分でも、「レポート」、「書き方」などのキーワードで検索してみてください。大量に検索できるはずですよ。

<http://www.mycon10ts.com/linkall2.htm>

<http://frds.itakura.toyo.ac.jp/~takeuchi/general/ronbun.htm>

[http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write\\_paper/paper.html](http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write_paper/paper.html)

<http://lapin.ic.h.kyoto-u.ac.jp/thesis.html>

<http://www.nanzan-u.ac.jp/~urakami/class.html>

<http://www.logicalskill.co.jp/>

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>

<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/physics/classes/reporting/wreport.html>

<http://www.mycon10ts.com/top.htm>

[http://www.geocities.jp/chigasaki\\_rihabilitation/report.html](http://www.geocities.jp/chigasaki_rihabilitation/report.html)

<http://www.reportreport.jp/>

<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~oda/essay1.html>

<http://www.shouronbun.com/>

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ir/ir-navi/technich.htm/ronbun.htm>

[http://www.sgu.ac.jp/eco/rp/eco\\_report00.html](http://www.sgu.ac.jp/eco/rp/eco_report00.html)

<http://www.report.gusoku.net/>

<http://www.ia.inf.shizuoka.ac.jp/~nomiyama/report.htm>

<http://www.f.waseda.jp/sakas/lecture/report.html>

注) これらのサイトの内容については、自分の責任で確認して下さい。辻原自身が全ての内容を確認したわけではありません。